

平成19年7月に開業させていただき、早くも7年が経過致しました。秋からは駐車場の拡張工事が予定されるなどより身近で便利なクリニックをめざし、スタッフ一同精進してまいります。年内にはクリニック独自のアプリ（スマートフォンソフト）を出す予定です。患者さんが主人公のクリニックです。引き続きご支援いただければ幸甚です。

院長 金 三雄

## 1本で2円の募金

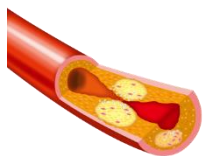
クリニック横の自動販売機が新しくなりました。



## 夏は脳梗塞が多い季節です

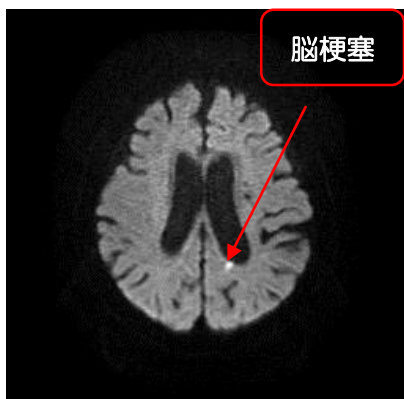
診療放射線技師 久保田

- 夏は脱水による体内の水分不足で、脳梗塞が起こりやすくなります。
- 脱水状態になると、血液がドロドロになり血流が悪くなり、血栓ができやすくなるため脳梗塞の危険性が高くなります。
- 就寝中は水分をとらないため脱水状態になりやすく、また血圧が下がるため血流が滞り血管が詰まりやすくなります。



MRI

前ぶれに注意  
○脳梗塞をおこす前に、前ぶれ発作（一過性脳虚血発作・TIA）を起こすことが少なくありません。前ぶれ発作が消えても早めに受診しましょう



### ◆夏の脳梗塞対策として◆

- のどの乾きは、脱水状態が始まっている証拠ですので乾きを感じる前に水分を取りましょう。
- 特に、高齢者は体内の水分量が少なくなってものどの乾きを認識しにくいので注意してください。
- アルコールは尿量を増加させて脱水の原因になります。大量飲酒はやめましょう。



# 認知症～こんなことはありませんか～

看護師 橋本

- ① 今までできていた仕事や作業がこなせなくなった。
- ② いま何時？ここはどこ？など時間や場所、日付がわからなくなった。
- ③ 簡単な計算の間違いが多くなった。
- ④ 慣れている場所で道に迷った。
- ⑥ 人と会う約束やその日時を忘れる。  
最近の出来事が思い出せない。
- ⑦ 大切な物をなくしたり、置き忘れたりする。  
財布を盗まれたと言ってさわぐ。
- ⑧ 水道やガス栓の締め忘れが目立つようになった。



次のような症状が  
認知症を疑う日常生活  
の変化です。  
「おかしいな!!」  
と思ったら早めに相談  
してください。



認知症は、早めに気付いて  
適切な治療を開始できれば  
その後の症状の進行を遅ら  
せることができます。



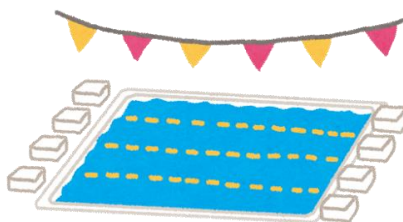
- ⑨ ものの名前が出てこなくなった。
- ⑩ 今まで好きだった物に対して興味・関心がなくなった。
- ⑪ 服装がだらしなくなった。
- ⑬ 性格が変わった？ささいなことで怒りっぽくなった。
- ⑭ 夜中に起き出して騒ぐようになった。
- ⑮ 薬の管理ができなくなった。

こんにちは。だんだんと夏に向かって暑い日が続いていますね。夏休みは生活習慣が  
乱れ、体調を崩しやすい季節です。そんな中、感染症が私達を狙っています！！  
夏休みに、子供を連れてプールや海に出かける、お父さん、お母さん、お祖父さん、お祖母さんへ、プール  
で感染しやすい病気をご紹介します。

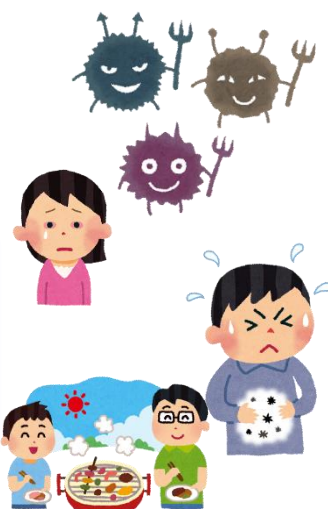
**プール熱**・・・高熱を伴い、喉と目に炎症を  
起こす病気

**流行性結膜炎**・・・目やにがでて、結膜が充  
血する。発熱、リンパ節の腫れ。

**水イボ**・・・ウイルスによる良性イボ。肌を露  
出した人と接触しなければ移ることはない。



プールの後によく眼や体を  
洗わないことや、タオルの貸  
し借りをすることで、感染者  
を増やしてしまうことが夏の  
ウイルスの特徴です。



また、アウトドアを楽しむ方も多いと思います。バーベキューの時期ですが、食中毒に罹ってしまっは大変です  
よね。食材はよく洗い、生ではなく火をしっかりと通しましょう！！ビールは生がいいですけどね(笑)  
十分に体調管理をし、思いっきり夏を楽しみましょう！(\*´▽`\*)

受付 大谷